

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131(呼)・有線2190(呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076(呼)・有線2251(呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303(直通)
有線 8889(直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

立科町児童館の 誠実な頑張り

立科町教育相談員 岩上起美男

「児童館は、大変です……。」
県内の児童館の運営や活動に携わって
いる数名の知人から、このような話を聴
いたことがあります。

知人の話を集約しますと、児童館の大
変さは、次のような児童の実態にあるよ
うです。

来館した児童の行動がでんでんばらば
らで、児童館利用のルールやマナーを守
らない子がおり、玄関の靴やトイレのス
リッパはほとんど脱ぎっ放しです。ロッ
カーの乱れも目立ちます。注意してもそ
の場合、すぐに同じ状態に戻ってし
まい、同じ子が翌日もまた同じことを繰
り返します。注意や指導が定着しないの
です。

挨拶をしない子がいます。厚生員が挨
拶をしても、返さない子がいます。

厚生員が注意しても、無視したり、
「自分はやんとやっている。」と反発し
たり、「自分だけじゃあない。皆、やっ
ている。皆に注意したのか。」とふてく
されたりします。中には、「うるせえ、
くそじじい!」と悪態をつく子もいます。
注意した厚生員を、大人不信の冷やや
かな視線で睨みつける子もいます。そん
なとき、一人の大人として、暗然とした
気持ちに襲われます。

子ども同士、些細なことですぐケンカ

になります。「死ぬ」「うざい」といった
落書きをする児童がいます。大人しい子
や気の合わない子からかったり、仲間
外しにしたりする子がいます。

人の嫌がることをあつかうかん口に
する子がいます。「人が嫌がることを
言っただけじゃありません。」と指導しても素
直に聞き入れず、「本当のことなのに、
どうして言っちゃあいけないの? 何が
いけないわけ? 意味わかんねえし
……。」などと言いつつ返す児童がいます。

生命や人権(いじめ)、暴力などに関
する反社会的な行為については見逃すこ
とはできませんので、厳しく指導しま
す。しかし、「自分は悪くない。」と言いつつ、
頑として非を認めないことがあります。
言い逃れや屁理屈が、つい感心してしま
うほど次々に幼い口元から発せられるこ
ともあります。指導する側の至らなさを
痛感させられますが、静かに、優しく論

すだけでは、指導が浸透しないのです。
そのため、大きな声で叱責することも
あります。そうすると、子どもは泣き
を認めます。けれども、それは決して心
からの反省ではなく、明らかに大人の剣
幕をかかわすためのその場の方便のよう
に感じます。「はいはい、分かりました。
謝りやあいんでしょ? 謝りや……。」

という児童の開き直ったような姿を目の
当たりにしますと、本当にやり切れない

思いにかられます。

来館中、厚生員の注意を一切聞かず、
ずっと自由奔放に振る舞っていた児童が、
母親が迎えに来た途端、「先生、ありが
とうございました。さようなら。」と、
礼儀正しい「よい子」に豹変することが
あります。そのようなとき、あまりの変
化に呆気にとられながら、「子どもも大
変なのだ。生きるために、自分の居場所
を確保するために、幼いペルソナ(仮
面)を必死に付け替えているのだ。その
大変さを子どもは児童館で発散してい
るのだろう。」と考えさせられます。

このような実態に対して、「子どもが
ぞげているのは、大人の指導が悪いか
らだ。大人がぞげているってことだ。」
というお叱りをいただくことがあります。
確かに、大人や大人社会の問題を反映
した子どもの姿であることに間違いな
いと思います。しかし、それだけに、子ど
もがぞげている、その根っこには、児
童館がどんなに頑張っても解決できない
根深く、複雑な問題が横たわっていると
思われます。

むしろ、児童館を利用する児童全員が、
このような心配な姿を見せているわけ
ではありません。児童一人一人の「心の育
ち」は極めて幅広く、行きつ戻りつしな
がらも、各成長期の発達課題を身に付け